

令和元年
第3回多摩市議会
定例会

委員会提出議案

多摩市議会

委員会提出議案第3号

重度訪問介護を利用する単身障がい者の都営住宅をはじめ各種
住宅入居への配慮・支援を求める意見書

上記の議案を地方自治法第109条第6項及び会議規則第13条第2項
の規定により別紙のとおり提出する。

令和元年10月4日

提出者	多摩市議会健康福祉常任委員長	三階 道雄
賛成者	多摩市議会健康福祉常任委員	小林 憲一
同	同	いぢち 恭子
同	同	大野 まさき
同	同	渡辺 しんじ
同	同	遠藤 ちひろ
同	同	きりき 優

多摩市議会議長 藤原 マサノリ 殿

重度訪問介護を利用する単身障がい者の都営住宅をはじめ各種
住宅入居への配慮・支援を求める意見書

重度知的障害を持つなどして、重度訪問介護制度を利用し介助者による訪問介護を受けている障がい者が、住まいを確保するに当たっては大きな課題があります。

障害者差別解消法及び東京都差別解消条例の趣旨に則り、障がい者の住宅入居に際しては、必要とする住居に入居できるよう合理的配慮を行い、都営住宅をはじめとする各種住宅への入居を容易にすべきと考えます。

よって、多摩市議会は、次のことを求めます。

- 1 重度訪問介護を利用し介助者による長時間の介護を受けている単身障がい者が、その必要とするスペースをもつ都営住宅をはじめ各種住宅に入居できるよう、配慮・支援を図ること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により、意見書を提出します。

令和 年 月 日

多摩市議会議長 藤原 マサノリ

東京都知事 殿